

公益社団法人 地盤工学会
四国支部

平成 29 年度 支部総会 議案書

開催日：平成 29 年 4 月 17 日（月）

会場：アイホール（高松サンポート合同庁舎）

（高松市サンポート 3-33）

目 次

特別会員表彰

平成 28 年度 四国支部賞 受賞業績（者）

第 1 号議案	平成 28 年度	支部事業報告（案）	1
第 2 号議案	平成 28 年度	支部収支決算報告（案）	13
第 3 号議案	平成 29 年度	支部役員（案）	17
第 4 号議案	平成 29 年度	支部事業計画（報告）	21
第 5 号議案	平成 29 年度	支部収支予算（報告）	25
[参考資料] 平成 29 年度以降の事業予定等			27
四国支部規定			28

特別会員表彰

株式会社エコー建設コンサルタント

4 級 (35 年)

以上

永年にわたる正会員への感謝状贈呈

和田 達夫

株式会社サン土木コンサルタント

以上

平成 28 年度 四国支部賞 受賞業績（者）

1. 技術賞（応募件数 0 件）

2. 技術開発賞（応募件数 0 件）

3. 研究・論文賞（応募件数 2 件、受賞件数 2 件）

受賞業績名	受賞者
豪雨による中山間地域の道路災害と今後の整備についての一考察	西村 紘寛（（株）第一コンサルタンツ） 西川 徹 （ ” ） 濱田 拓也 （ ” ）
四国三波川帯の大規模地すべりの発生年代と地質的素因に関する考察	木下 博久 （復建調査設計（株）） 山田 琢哉 （ ” ） 藤本 耕次 （ ” ） 林 孝標（国土交通省四国地方整備局 四国山地砂防事務所） 平澤 良輔 （ ” ） 尾嶋 百合香 （ ” ）

4. 功績賞（応募件数 0 件）

以上

第 1 号議案 平成 2 8 年度 支部事業報告(案)

平成 28 年度 支部事業報告（案）

1. 総会，役員会等

(1) 支部総会

第 1 回 平成 28 年 4 月 22 日（金）16:00～17:00 レクザムホール（高松市）

- ① 平成 27 年度 特別表彰
- ② 平成 27 年度 支部事業報告
- ③ 平成 27 年度 支部収支決算報告，監査報告
- ④ 平成 28 年度 支部役員（案）
- ⑤ 平成 28 年度 支部事業計画（案）
- ⑥ 平成 28 年度 支部収支予算（案）

(2) 評議員会

第 1 回 平成 28 年 4 月 22 日（金）14:30～15:40 レクザムホール（高松市）

- ① 平成 28 年度 支部役員（案）
- ② 平成 27 年度 支部事業報告（案）
- ③ 平成 27 年度 支部収支決算報告（案），監査報告
- ④ 平成 27 年度 功労賞
- ⑤ 平成 27 年度 特別会員表彰，永年正会員感謝状
- ⑥ 平成 28 年度 支部事業計画
- ⑦ 平成 28 年度 支部収支予算

第 2 回 平成 29 年 2 月 14 日（火）14:30～15:40 サンポートホール高松（高松市）

- ① 平成 29 年度 支部役員（案）
- ② 平成 29 年度 支部事業計画（案）
- ③ 平成 29 年度 支部予算（案）
- ④ 平成 28 年度 本部理事会報告（第 10 回理事会）
- ⑤ 平成 28 年度 事業報告
- ⑥ 平成 28 年度 決算見込み報告
- ⑦ 平成 28 年度 地盤工学会四国支部賞候補募集
- ⑧ 第 53 回地盤工学研究発表会の開催について

(3) 幹事会

第1回 平成28年6月22日(木) 13:30～15:00 高松市(サンポートホール高松)

- ① 平成28年度 四国支部役員
- ② 地盤工学会第58回通常総会
- ③ 平成28年度 理事会議事録
- ④ 平成28年度 支部交付金(前期)の受入れ
- ⑤ 平成28年度 四国支部事業計画
- ⑥ 平成28年度 現場見学会開催案内
- ⑦ 徳島大学 地盤と防災・環境に関するシンポジウム
- ⑧ 「防災・環境・維持管理と地形地質」講習会
- ⑨ 平成28年度 地盤工学会四国支部技術研究発表会 論文募集

第2回 平成28年12月2日(金)～平成28年12月16日(金) メール審議

- ① 本部理事会(第8回)
- ② 本部支部連絡会議
- ③ 平成28年度 支部事業報告(中間)
- ④ 平成28年度 技術研究発表会発表賞受賞者
- ⑤ 平成28年度 地盤工学会賞候補募集
- ⑥ 平成28年度地盤工学会四国支部賞候補募集

第3回 平成29年2月14日(火) 13:00～14:00 高松市(サンポートホール高松)

- ① 本部理事会報告(第10回)
- ② 平成28年度 支部事業報告
- ③ 平成28年度 決算見込み報告
- ④ 平成29年度 支部役員(案)
- ⑤ 平成29年度 支部事業計画(案)
- ⑥ 平成29年度 支部予算(案)
- ⑦ 平成28年度 支部賞候補募集
- ⑧ 第53回地盤工学研究発表会の開催について

2. 支部主催事業

(1) 平成 28 年度見学会 担当：愛媛大学

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部
- 日 時：平成 28 年 7 月 22 日（金）13:30～17:30
- 現場見学：愛媛県鹿野川ダム改造事業（愛媛県大洲市肱川町）
- 参加者：27 名

(2) 平成 28 年「防災・環境・維持管理と地形地質」講習会

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部
- 日 時：平成 28 年 10 月 7 日（金）
- 場 所：香川県立ミュージアム研修室（〒760-0030 香川県高松市玉藻町 5-5）
- 内容・講師：
 - ・地震災害・豪雨災害
香川大学工学部 長谷川修一
 - ・廃棄物処理
香川大学工学部 山中 稔
 - ・維持管理（トンネル・ダム・土構造など）
応用地質（株） 上野将司
- 参加者：43 名

(3) 平成 28 年学術講演会「四国における地域防災力の向上」

- 主 催：公益財団法人地盤工学会四国支部・公益財団法人土木学会四国支部
- 日 時：平成 28 年 11 月 14 日（月）
- 場 所：サンポート高松合同庁舎低層棟 2 階 アイホール（高松市サンポート 3-33）
- 内容・講師：
 - ・四国における地域防災力の向上について
香川大学危機管理先端教育研究センター 白木 渡
- 参加者：83 名

(4) 平成 28 年度技術研究発表会 担当：愛媛大学

- 主 催：公益社団法人地盤工学会四国支部
- 日 時：平成 28 年 11 月 17 日（木）～18 日（金）
- 会 場：久万高原町産業文化会館（愛媛県上浮穴郡久万高原町久万 188）
- 優秀発表者名

新日鐵住金（株） 藤原 寛太
愛媛大学大学院 緒方 奨
愛媛大学大学院 平尾 優太郎
（株）不動テトラ 出野 智之
香川高等専門学校 竹谷 貢太

○プログラム：平成 28 年 11 月 17 日（木）

【セッション①】10：05～11：50 山本 温（（株）愛媛建設コンサル）

1. 落石防護擁壁の安定性照査法に関する考察
○北村暢章（（株）第一コンサルタンツ）、楠本雅博、水田勝也
2. 熊本地震における河成地形特性と液状化発生地点に関する一考察
○北澤聖司（（株）第一コンサルタンツ）、原 忠（高知大学）田所佑理佳、棚谷南海彦（高知大学農学部）
3. シェール層周辺環境を再現した泥岩き裂とプロパントの透水特性
○菅野 巧（愛媛大学大学院）、安原英明（愛媛大学理工学研究科）、木下尚樹
4. 鋼材を用いたため池堤防補強技術に関する検証
ーその 1：振動台模型実験による地震・越水に対する補強効果の検証ー
原 忠（高知大学）、○棚谷南海彦（高知大学農学部）、藤原寛太（新日鐵住金（株））、乙志和孝、奥田洋一
5. 鋼材を用いたため池堤防補強技術に関する検証 ーその 2：動的有効応力解析による地震時挙動の検証ー
○藤原寛太（新日鐵住金（株））、乙志和孝、奥田洋一、原 忠（高知大学）、棚谷南海彦（高知大学農学部）、黒田修一（（株）エイト日本技術開発）、栗林健太郎、坂部晃子
6. 矢板によるプレストレストを導入した盛土液状化対策（数値解析）
○陣内尚子（愛媛大学工学部）、高木翔平、岡村未対（愛媛大学理工学研究科）
7. 矢板によるプレストレストを導入した盛土液状化対策（遠心模型実験）
○高木翔平（愛媛大学工学部）、岡村未対（愛媛大学理工学研究科）、陣内尚子（愛媛大学工学部）
8. 常時微動測定を用いたネパール・カトマンズ盆地の地震時建物被害について
○善積将裕（愛媛大学工学部）、ネトラ P. バンダリ（愛媛大学理工学研究科）、矢田部龍一
9. 2016 年熊本地震で被害の集中した益城町での微動観測
○西山優輔（愛媛大学工学部）、森伸一郎（愛媛大学理工学研究科）
10. 衛星写真による 2016 年熊本地震における西原村の家屋被害判別
○梶田恵利子（愛媛大学工学部）、森伸一郎（愛媛大学理工学研究科）

【セッション②】12：50～14：25 中根 久幸（（株）地研）

11. 小型ジャッキを用いたアンカーリフトオフ試験調査事例
○鈴木舜也（（株）エス・ビー・シー）、高田章徳、西岡真人
12. 陸上防潮堤の転倒対策に必要な矢板根入れ深さの検討
○谷垣嘉基（徳島大学大学院）、道根裕基（徳島大学）、渦岡良介（徳島大学大学院）、上野勝利
13. 圧力溶解を考慮した熱・水・応力・化学連成解析モデルの高度化と流体解析
○緒方 奨（愛媛大学大学院）、安原英明（愛媛大学理工学研究科）、木下尚樹
14. S A A M ジャッキを用いた維持性能確認試験による維持管理事例
○山本 温（（株）愛媛建設コンサルタント）、越智 正（愛媛県久万高原土木事務所）、増田 信（（株）愛媛建設コンサルタント）
15. 常時微動 H/V スペクトル比とピーク振幅に基づく地盤の堆積構造の推定
原 忠（高知大学）、○中村友紀恵、石川 諒、山田雅行（（株）ニュージェック）伊藤佳洋、橋田広加（中土佐町）
16. 豪雨による中山間地域の道路災害と今後の整備についての一考察
○西村紘寛（（株）第一コンサルタンツ）、西川 徹、濱田拓也
17. 高温条件における不連続面変形挙動の評価
○岡本哲徳（愛媛大学大学院）、安原英明（愛媛大学理工学研究科）、木下尚樹
18. 高透水性土用の透水試験装置開発に向けての基礎的研究

向谷光彦（香川高等専門学校）、久保慶徳、○野村妃奈（香川高等専門学校）、能野一美（（株）四電技術コンサルタント）

19. 愛南町における高密度地震観測によるゆれやすさ評価

○森伸一郎（愛媛大学理工学研究科）、河野幸一（愛媛大学工学部）、小越拓海

【セッション③】14:35～16:00 内田 純二（西日本高速道路エンジニアリング四国（株））

20. パイピングにより堤体表面に現れる沈下分布の基礎的実験

○平尾優太郎（愛媛大学大学院）、岡村未対（愛媛大学理工学研究科）

21. 埋立地盤に打設された木杭の長期耐久性評価 その1 施工地点の概要

原 忠（高知大学）、○三村佳織（兼松サステック（株））、林 聖淳、加藤英雄（森林総合研究所）

22. 埋立地盤に打設された木杭の長期耐久性評価 その2 縦圧縮強度特性

原 忠（高知大学）、○林 聖淳（高知大学大学院）、三村佳織（兼松サステック（株））加藤英雄（森林総合研究所）

23. 自然斜面の保護工「ハイスイテラス工法」の開発

向谷光彦（香川高等専門学校）、○久保慶徳

24. 個別要素法を用いた倒壊シミュレーションの試算

原 忠（高知大学）、○石川 諒（高知大学大学院）、山田雅行（（株）ニュージェック）伊藤佳洋、橋田広加（中土佐町役場）

25. FEM メッシュデータを利用したひずみ場計測システムの構築

○藤田翔平（徳島大学大学院）、森 洋貴、上野勝利、渦岡良介、

26. 四国三波川帯の大規模地すべりの発生年代と地質的素因に関する考察

○木下博久（復建調査設計（株）四国支社）、山田琢磨、藤本耕次、林 孝標（四国地方整備局四国山地砂防事務所）、平澤良輔、尾嶋百合香

27. 含水比の増減を判別する閉回路レーダ法

○佐々木諒（徳島大学大学院）、田邊真規、渦岡良介、上野勝利

【セッション④】16:10～17:35 神田 幸正（（株）ビュー設計）

28. Large-scale landslide distribution in Araniko Roadway corridor in Nepal and its influence on rainand earthquake-induced landslides

○エリナ ビスタ（愛媛大学大学院）、ネトラ P. バンダリ（愛媛大学理工学研究科）、矢田部龍一

29. 平成 28 年熊本地震による阿蘇山中中央火口丘周辺の斜面崩壊の特徴

○阿部龍矢（香川大学大学院）、長谷川修一（香川大学工学部）、野々村敦子

30. 地震時変形が河川堤防の浸透性能に与える影響

○居上靖弘（徳島大学大学院）、伊藤 慧、渦岡良介、上野勝利

31. 那賀川右岸における静的締固め砂杭工法の改良効果

○出野智之（（株）不動テトラ）、朝妻 涼

32. 3 次元地中レーダ探査車による効果的な路面下空洞調査

○篠原 潤（カナン地質（株））、中前茂之、馬場 務、加藤祐悟

33. 丸亀城石垣部での常時微動測定時に観測した 2016 年鳥取県中部の地震の H/V スペクトル

○石垣隼人（香川大学工学部）、山中 稔、小泉勝彦、長谷川修一

34. 丸亀城石垣部の変状におよぼす盛土と土台石垣の影響について

○渡邊蒔也（香川大学工学部）、山中 稔、石垣隼人、小泉勝彦、長谷川修一、東信男（丸亀市文化財保護室）

35. 切土のり面の施工時変状に対する課題と対応

○中島 昇（（株）地研）、中根久幸、山本亮輔、森 直樹

○プログラム：平成 28 年 11 月 18 日（金）

【セッション⑤】9:00~10:15 鈴木 麻里子(香川高等専門学校)

36. 2015年ネパール・ゴルカ地震において震源逆断層直上の隆起域に当たるミッドランドで斜面崩壊が少なかった理由
○長谷川修一(香川大学工学部)、野々村敦子、Ranjan Kumar Dahal(Tribhuvan University)、Manita Timilsina(Himalaya Conservation Group)
37. 年代効果が液化化特性に及ぼす影響
○渡邊翔太(愛媛大学大学院)、岡村未対(愛媛大学理工学研究科)
38. Ground seismic response characteristics in the Kathmandu valley
○ポウデル. サンジブ(愛媛大学大学院)、ネトラ P. バンダリ(愛媛大学理工学研究科)、矢田部龍一
39. 2016年熊本地震で決壊した小規模ため池堤体の土質物性について
○山中 稔(香川大学工学部)、長谷川修一、野々村敦子、中越寛行(増田地質工業(株))
40. 粘性土の残留状態におけるせん断クリープ破壊メカニズムの解明
○森 皓樹(愛媛大学工学部)、ネトラ P. バンダリ(愛媛大学理工学研究科)、矢田部龍一
41. Change in Vs and Liquefaction Resistance of a Uniform Sand Deposit due to Series of Small Shakings
○Asri nurani Sjafruddin(愛媛大学大学院) Estetika Chinta P、Shota Watanabe、Mitsu Okamura
42. 再生石膏の造粒材としての適用性検討
○塩入潤一郎(香川高等専門学校専攻科)、小竹 望(香川高等専門学校)、高島敦之(四電エンジニアリング(株))、多田隆志(鎌長製衛(株))、山内 守(経済産業省四国経済産業局)

【セッション⑥】10:25~11:45 西川 徹((株)第一コンサルタンツ)

43. 方位センサを搭載した地盤傾斜計の開発と高速道路切土のり面における実証実験
○納谷 宏(明治コンサルタント(株))、林田 昇、内田純二(西日本高速道路エンジニアリング四国(株))、別役一哉(西日本高速道路(株))
44. 切土のり面変状前後の地盤傾斜計における変状特性と予防保全
○内田純二(西日本高速道路エンジニアリング四国(株))、大寺正宏、別役一哉(西日本高速道路(株))、納谷 宏(明治コンサルタント(株))、林田 昇
45. 和泉層群における切土法面の弱面粘土のせん断特性および粘土鉱物について
○八津川貴弘(愛媛大学工学部)、ネトラ P. バンダリ(愛媛大学理工学研究科)、矢田部龍一
46. 陽イオン濃度調節水溶液を用いた人工粘性土の残留強度の評価
○野田朝幸(愛媛大学工学部)、ネトラ P. バンダリ(愛媛大学理工学研究科)、矢田部龍一
47. 締固めた津波堆積物分別土の一軸圧縮強さについて
○竹谷貢太(香川高等専門学校専攻科)、小竹 望(香川高等専門学校)、多田有汰、山中 稔(香川大学工学部)
48. 津波堆積物分別土の木くず混入量が一面せん断強さに及ぼす影響(その3)
○多田有汰(香川高等専門学校専攻科)、小竹 望(香川高等専門学校)、山中 稔(香川大学工学部)
49. 松山港のPC 栈橋の振動特性
○田中祐希(愛媛大学工学部)、森伸一郎(愛媛大学理工学研究科)

○発表者: 49名

○参加者: 30名

(5) 地盤工学会四国支部 地盤地震防災研究委員会（平成 28 年度活動報告）

(5-1) 第 2 回動的遠心模型実習

- 日 時：平成 28 年 7 月 22 日（木）～29 日（金）
- 場 所：愛媛大学工学部 岡村研究室
- 内 容：
 - ①遠心模型実験の概要（講義）
 - ②遠心模型実験の実習
 - ③データ整理，講評
- 参加者：6 名

(5-2) 第 16 回地盤地震防災研究委員会

- 日 時：平成 28 年 12 月 8 日（木）15：00～17：00
- 場 所：サンポートホール高松 63 会議室
- 議 題：
 - ①LIQCA を用いた遠心模型実験のシミュレーション解析
 - ②第 2 回遠心模型実験実習の結果について
 - ③今後の活動計画
- 参加者：15 名

(5-3) 第 17 回地盤地震防災研究委員会

- 日 時：平成 29 年 3 月 13 日（金）14:30～16:30
- 場 所：サンポートホール高松 62 会議室
- 議 題：
 - ①LIQCA を用いた遠心模型実験のシミュレーション解析
 - ②次年度の研究テーマ
 - ③今後の活動計画
- 参加者：11 名

3. 各県地盤工学会

(1) 徳島県地盤工学会

1) 平成 28 年度 地盤と防災・環境に関するシンポジウム

○日 時：平成 28 年 8 月 19 日（金） 13:30～17:30

○場 所：徳島大学 工業会館 メモリアルホール

○特別講演内容：

特別講演 1「本県における社会資本整備の現状と今後」

徳島県 県土整備部 建設管理課長 折目 啓介

特別講演 2「海外工事での地盤リスク対応」

京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻 教授 大津 宏康

○一般発表：4 編

○参加者：38 名（会員：12 名，非会員：22 名，学生：4 名）

2) 第 1 回 特別講演会

○日 時：平成 28 年 10 月 28 日（金） 15:00～16:30

○場 所：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）

○内 容：

特別講演「こんなことがありました、聞いてくれますか？」

ー土質力学（黎明期）から地盤工学（成熟期）へー

徳島大学 名誉教授 望月 秋利

○参加者：32 名（会員 18 名（内学生会員 4 名），非会員 14 名）

3) 第 2 回 特別講演会

○日 時：平成 29 年 3 月 10 日（金） 15:00～16:30

○場 所：徳島大学工業会館

○内 容：

「熊本地震における地盤災害とその復旧状況および最近の地盤工学的話題」

九州大学 大学院工学研究院 教授 安福 規之

○参加者：22 名（会員 15 名，非会員 7 名，学生：4 名）

4) 学術講演会

○日 時：平成 29 年 3 月 31 日（金） 15:00～16:30

○場 所：徳島大学工業会館

○内 容：

「南海トラフ地震に備えるための地盤工学」ー地震や降雨の複合災害ー

徳島大学 教授 渦岡 良介

○参加者：55 名（会員 40 名，非会員 15 名，学生 10 名）

(2) 香川県地盤工学会

I. 主催事業

1) 第 1 回役員会

○日 時：平成 28 年 5 月 13 日（金） 13:00～14:00

○場 所：香川大学工学部

○主な審議事項：平成 28 年度事業内容他

○参加者数：14名

2) 熊本地震災害調査報告会

○日時：平成28年6月17日（金）13:30～16:00

○場所：香川大学工学部

○会費：1,000円（資料代を含む）

○内容：

①ドローンを用いた迅速な災害状況把握の可能性と課題
総合地球環境学研究所 渡辺一生

②2016年熊本地震の地表地震断層と建物の被害
香川大学工学部 長谷川修一

③熊本地震災害の斜面崩壊と道路被害について
香川大学工学部 野々村敦子

④ため池および城郭石垣の被害と災害廃棄物の処理について
香川大学工学部 山中 稔

○参加者数：76名

3) 第1回 学術講演会

○日時：平成28年12月16日（金）13:25～16:45

○場所：香川県立ミュージアム

○会費：1,000円（資料代を含む）

○内容：

①空中電磁探査の実務への適用
大日本コンサルタント（株） 鏡原 和也

②空中電磁探査の斜面への適用
香川大学工学部 野々村 敦子

③空中電磁探査のトンネルへの適用
香川大学工学部 長谷川 修一

○参加者数：41名

4) 第1回 高松自動車道大坂トンネル北工事現場見学会

○日時：平成28年7月22日（金）14:00～17:30

○場所：高松自動車道 大坂トンネル北工事現場（香川県東かがわ市内）

○参加費：2,000円（資料代を含む）

○内容：

大坂トンネル北工事現場（トンネル切羽，切土工事）見学

○参加者数：31名

5) 第2回 柗川ダム建設工事現場見学会

○日時：平成28年9月2日（金）14:00～17:20

○場所：香川県柗川ダム建設工事現場（高松市塩江町内）

○参加費：2,000円（資料代を含む）

○内容：

柗川ダム建設工事現場見学

○参加者数：32名

II. 共催事業

1) 現場ですぐに役立つ三軸試験セミナー（基本コース）

○日時：平成28年8月26日（金）9:30～16:30

○場 所：香川高等専門学校 高松キャンパス内

○内 容：

①三軸試験による土の強度定数 c , ϕ について

②室内モデル土槽における地盤現象の把握

③三軸試験の基本操作と実際

④試験結果の整理と実務への適用

○講 師：(一般財)地域地盤環境研究所・本郷 隆夫, 赤井 俊文, 平野 浩二,

(株)ダイソク・濱 賢治, 香川高等専門学校・向谷 光彦, 久保 慶徳, 鈴木 麻里子

○参加者数：21 名

2) 最新！原位置透水試験法（基本コース）講習会

○日 時：平成 28 年 10 月 21 日(金) 9:30～16:30

○場 所：香川高等専門学校 高松キャンパス内

○内 容：

①室内モデル地盤における浸透現象の把握と基礎知識

②室内モデル地盤を用いた原位置透水試験の可視化

③屋外における原位置透水試験の実践

○講 師：(株)四電技術コンサルタント・能野一美, (株)ナイバ 赤坂忠生,

香川高等専門学校・向谷光彦, 久保慶徳, 鈴木麻里子, 岡崎芳行

○参加者数：20 名

3) 実装！原位置透水試験法（応用コース）講習会

○日 時：平成 29 年 1 月 27 日(金) 9:30～16:30

○場 所：香川高等専門学校 高松キャンパス内

○内 容：

①原位置透水試験装置とは, 原位置透水試験装置の最新研究動向とハイテラス工法の紹介

②室内モデル地盤試験

③屋外における原位置透水試験の実装

○講 師：(株)四電技術コンサルタント・能野一美, (株)ナイバ・赤坂忠生, 多田健

香川高等専門学校・向谷光彦, 久保慶徳, 鈴木麻里子, 岡崎芳行

○参加者数：11 名

(3) 高知県地盤工学会

1) 第 38 回(平成 28 年度) 高知県地盤工学会 講演会

○日 時：平成 28 年 10 月 24 日(月) 14:00～17:00

○会 場：高知工業高等専門学校(高知県南国市物部乙 200-1)

○内 容：

「熊本地震における地盤と構造物の被害」

高知工業高等専門学校名誉教授 多賀谷宏三

「熊本地震での地盤の液状化被害」

高知工業高等専門学校 教授 岡林宏二郎

○参加者：22 名

2) 第 3 回高知県地盤工学会「若手の会」(見学会)

○日 時：平成 28 年 11 月 30 日(水) 13:00～15:30

○場 所：高知市上水道推進工事現場見学会送水幹線二重化(3 工区)管渠築造工事現場
高知県高知市朝倉東町 50-16 番地地先

- 内 容：現在施工中である推進工事現場の見学会
- 参加者：12 名

3) 第 40 回(平成 28 年度) 高知県地盤工学会 現地見学会

- 日 時：平成 29 年 2 月 24 日(金) 9:00～17:30
- 場 所：横瀬川ダム建設現場 高知県宿毛市山奈町山田
- 内 容：
ダム堤体の基礎地盤掘削状況の見学
- 参加者：13 名

(4) 愛媛県地盤工学会

I. 主催行事

1) 愛媛県地盤工学会学術講演会 I

- 日 時：平成 28. 年 4 月 15 日(金) 14:00～16:00
- 場 所：愛媛大学校友会館サロン
- 内 容：
 - 1. The 2016 Meinung Earthquake caused damages in Taiwan with a special focus on geotechnical aspect of damages
台湾国立高雄第一科技大学 盧 之偉
 - 2. 台湾南部地震における構造物被害と教訓
愛媛大学理工学研究科 森 伸一郎
- 参加者：60 名

2) 愛媛県地盤工学会学術講演会 II

- 日 時：平成 28. 年 11 月 11 日(金) 13:00～14:30
- 場 所：愛媛大学工学部 2 号館 2 階 E221 号室
- 内 容：
Geomechanics for Unconventional resources
韓国東亜大学 李 大成
- 参加者：53 名

3) 愛媛県地盤工学会学術講演会 III

- 日 時：平成 29 年 2 月 24 日(金) 13:00～14:30
- 場 所：愛媛大学校友会館サロン
- 内 容：
斜面の計測・モニタリングとその利活用
関西大学社会安全学部 准教授 小山 倫史
- 参加者：30 名

II. 共催行事

1) アジア地域防災情報共有講演会

- 主 催：愛媛大学防災情報研究センター
- 共 催：地盤工学会四国支部愛媛県地盤工学会
- 日 時：平成 28 年 7 月 29 日(金) 16:00～17:00
- 場 所：愛媛大学校友会館サロン
- 内 容：

2016 年スリランカ洪水・土砂災害による被害と教訓

(The 2016 Sri Lanka flood disaster and lessons learned)

H. Jayalath Edirisinghe, Ph.D.

Senior Lecturer, Peradeniya University, Sri Lanka

○参加者：48 名

第2号議案 平成28年度 支部収支決算報告(案)

四国支部 正味財産増減予算書内訳表
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで
四国支部（平成28年度）

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益	0	662,001	156,000	0	0	818,001	0	818,001
調査研究・基準事業収益（公2）	0	662,001	0	0	0	662,001	0	662,001
学術講演会収益	0	0	0	0	0	0	0	0
見学会収益	0	35,000	0	0	0	35,000	0	35,000
技術研究発表会収益	0	244,000	0	0	0	244,000	0	244,000
研究会助成収益	0	383,001	0	0	0	383,001	0	383,001
研究事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0
技術指導収益	0	0	0	0	0	0	0	0
技術推進事業収益（公3）	0	0	156,000	0	0	156,000	0	156,000
講習会収益	0	0	156,000	0	0	156,000	0	156,000
海外調査および国際セミナー・報告会収益	0	0	0	0	0	0	0	0
② 雑収益	0	0	0	0	110,028	110,028	110,028	220,056
受取利息	0	0	0	0	28	28	28	56
雑収益	0	0	0	0	110,000	110,000	110,000	220,000
③ 他会計からの繰入額	0	0	0	0	588,000	588,000	1,092,000	1,680,000
本部交付金	0	0	0	0	588,000	588,000	1,092,000	1,680,000
経常収益計	0	662,001	156,000	0	698,028	1,516,029	1,202,028	2,718,057
(2) 経常費用								
① 事業費	0	1,510,996	157,495	10,920	0	1,679,411	0	1,679,411
調査研究・基準事業費（公2）	0	1,510,996	0	0	0	1,510,996	0	1,510,996
学術講演会費	0	10,324	0	0	0	10,324	0	10,324
見学会費	0	64,112	0	0	0	64,112	0	64,112
技術研究発表会費	0	233,151	0	0	0	233,151	0	233,151
研究会助成金支出	0	1,182,001	0	0	0	1,182,001	0	1,182,001
研究事業支出	0	21,408	0	0	0	21,408	0	21,408
技術指導支出	0	0	0	0	0	0	0	0
技術推進事業費（公3）	0	0	157,495	0	0	157,495	0	157,495
講習会費	0	0	157,495	0	0	157,495	0	157,495
海外調査および国際セミナー・報告会	0	0	0	0	0	0	0	0
表彰関連事業費（公4）	0	0	0	10,920	0	10,920	0	10,920
表彰事業	0	0	0	10,920	0	10,920	0	10,920
② 管理費	0	0	0	0	0	0	1,054,589	1,054,589
備入費	0	0	0	0	0	0	400,000	400,000
会議費	0	0	0	0	0	0	43,764	43,764
旅費・交通費	0	0	0	0	0	0	172,040	172,040
通信費	0	0	0	0	0	0	62,760	62,760
印刷費製本費	0	0	0	0	0	0	45,360	45,360
HP管理費	0	0	0	0	0	0	64,800	64,800
雑費	0	0	0	0	0	0	265,865	265,865
経常費用計	0	1,510,996	157,495	10,920	0	1,679,411	1,054,589	2,734,000
当期経常増減額	0	△ 848,995	△ 1,495	△ 10,920	698,028	△ 163,382	147,439	△ 15,943
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 848,995	△ 1,495	△ 10,920	698,028	△ 163,382	147,439	△ 15,943
一般正味財産期首残高								6,778,526
一般正味財産期末残高								6,762,583
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額								0
指定正味財産期首残高								0
指定正味財産期末残高								0
III 正味財産期末残高								6,762,583

四国支部（平成28年度）

（円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1）経常収益			
① 事業収益	818,001	1,473,476	△ 655,475
調査研究・基準事業収益（公2）	662,001	751,800	△ 89,799
学術講演会収益	0	160,500	△ 160,500
見学会収益	35,000	40,000	△ 5,000
技術研究発表会収益	244,000	273,300	△ 29,300
研究会助成収益	383,001	278,000	105,001
技術指導収益	0	0	0
自然災害の調査・研究事業収益	0	0	0
技術推進事業収益（公3）	156,000	721,676	△ 565,676
講習会収益	156,000	721,676	△ 565,676
海外調査および国際セミナー・報告会	0	0	0
② 雑収益	220,056	140,425	79,631
受取利息	56	1,125	△ 1,069
雑収益	220,000	139,300	80,700
③ 他会計からの繰入額	1,680,000	1,720,000	△ 40,000
本部交付金	1,680,000	1,720,000	△ 40,000
経常収益計	2,718,057	3,333,901	△ 615,844
（2）経常費用			
① 事業費	1,679,411	2,202,801	△ 523,390
調査研究・基準事業費（公2）	1,510,996	1,480,272	30,724
学術講演会費	10,324	192,216	△ 181,892
見学会費	64,112	21,886	42,226
技術研究発表会費	233,151	238,416	△ 5,265
技術指導費	0	0	0
受託事務手数料	0	0	0
研究会助成金支出	1,182,001	1,018,640	163,361
自然災害の調査・研究事業支出	21,408	9,114	12,294
技術推進事業費（公3）	157,495	713,779	△ 556,284
講習会費	157,495	523,099	△ 365,604
海外調査および国際セミナー・報告会	0	190,680	△ 190,680
表彰関連事業（公4）	10,920	8,750	2,170
表彰事業	10,920	8,750	2,170
② 管理費	1,054,589	1,169,676	△ 115,087
備人費	400,000	400,000	0
会議費	43,764	44,888	△ 1,124
旅費・交通費	172,040	176,900	△ 4,860
通信費	62,760	72,899	△ 10,139
印刷費製本費	45,360	45,360	0
HP管理費	64,800	32,400	32,400
雑費	265,865	397,229	△ 131,364
経常費用計	2,734,000	3,372,477	△ 638,477
当期経常増減額	△ 15,943	△ 38,576	22,633
2. 経常外増減の部			
（1）経常外収益	0	0	0
（2）経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,943	△ 38,576	22,633
一般正味財産期首残高	6,778,526	6,817,102	△ 38,576
一般正味財産期末残高	6,762,583	6,778,526	△ 15,943
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	6,762,583	6,778,526	△ 15,943

平成29年4月5日

監 査 報 告 書

公益社団法人 地盤工学会 四国支部

支部長 岡村 未対 殿

公益社団法人 地盤工学会 四国支部

監 事 天 羽 誠 二 

監 事 上 野 勝 利 

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度における
会計及び業務の監査を行ない、次のとおり報告する。

1 監査の方法

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施するとともに、支部事務局から会計監査に関しての報告を受け、計算書類につき検討を加えた。
- (2) 業務監査について、支部事務局からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討した。

2 監査結果

- (1) 平成28年度一般会計の正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の収支状況及び財産状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は適正であると認める。
- (3) 支部役員の職務執行に関する不正の行為又は支部規定等に違反する事実はないと認める。

以 上

第3号議案 平成29年度 支部役員(案)

平成29年度 地盤工学会四国支部役員

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
支 部 長	畠 中 秀 人	国土交通省 四国地方整備局 企画部長 〒760-8554 高松市サンプォート3-33 高松サンプォート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
副支部長	大 野 裕 記	四国電力(株) 土木建築部長 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-825-3177
"	原 忠	高知大学教育研究部自然科学系農学部 教授 〒783-8502 南国市物部乙200	TEL 088-864-5162 FAX 088-864-5162
"	吉 田 英 信	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 鹿島建設㈱ 四国支店 執行役員支店長 〒760-0050 高松市亀井町1-3	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-839-3100 FAX 087-862-0314
顧 問	名 波 義 昭	国土交通省 四国地方整備局長 〒760-8554 高松市サンプォート3-33 高松サンプォート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
"	柳 川 晃	(独)水資源機構 吉野川本部長 〒760-0018 高松市天神町10-1	TEL 087-835-6600 FAX 087-835-6605
"	別 枝 修	建設コンサルタンツ協会 四国支部長 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 (株)四電技術コンサルタント 代表取締役社長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-851-5881 FAX 087-823-8730 TEL 087-845-8881 FAX 087-887-2205
"	神 野 邦 彦	四国地質調査業協会 理事長 〒761-8058 高松市上天神町231-1マリッチF 1101 (株)愛媛建設コンサルタント 代表取締役 〒790-0036 松山市小栗7丁目11番18号	TEL 087-899-5410 FAX 087-899-5411 TEL 089-947-1011 FAX 089-941-8606
"	長谷川 修 一	香川大学 工学部安全システム建設工学科 教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2155 FAX 087-864-2031
"	末 澤 等	四国電力(株) 常務取締役 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-825-3177
評議員	笹 原 克 夫	高知大学 教育研究部自然科学系 教授 〒783-8502 南国市物部乙200	TEL 088-864-5341 FAX 088-864-5341
"	岡 村 未 対	愛媛大学 大学院理工学研究科 教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9820 FAX 089-927-9820
"	蔣 景 彩	徳島大学環境防災研究センター 准教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7346 FAX 088-856-7346
"	岡 林 宏二郎	高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科 教授 〒783-8508 南国市物部乙200-1	TEL 088-864-5589 FAX 088-864-5589
"	山 中 稔	香川大学 工学部安全システム建設工学科 教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2158 FAX 087-864-2188
"	小 林 範 之	愛媛大学 農学部利水環境工学研究室 教授 〒790-0905 松山市樽味3-5-7	TEL 089-946-9929 FAX 089-946-9929
"	小 竹 望	香川高等専門学校 建設環境工学科 教授 〒761-8058 高松市勅使町355	TEL 087-869-3927 FAX 087-869-3929
"	吉 村 洋	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科建設コース 教授 〒774-0017 阿南市見能林町青木265	TEL 0884-23-7186 FAX 0884-23-7199
"	安 部 賢	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部長 〒760-8554 高松市サンプォート3-33 高松サンプォート合同庁舎	TEL 087-811-8331 FAX 087-811-8431
"	原 一 郎	徳島県 県土整備部長 〒770-8570 徳島市万代町1-1	TEL 088-621-2620 FAX 088-621-2864
"	葛 西 剛	香川県 土木部長 〒760-8570 高松市番町4-1-10	TEL 087-832-3521 FAX 087-806-0220
"	樋 口 志 朗	愛媛県 土木部長 〒790-8570 松山市一番町4-4-2	TEL 089-912-2647 FAX 089-912-2653
"	福 田 敬 大	高知県 土木部長 〒780-8570 高知市丸の内1-2-20	TEL 088-823-9800 FAX 088-823-9263

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
"	松 永 佳 弘	西日本高速道路(株)四国支社 建設事業部 技術審査役 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1903 FAX 087-823-3636
"	立 川 貴 重	四国電力(株) 土木建築部 土木技術グループリーダー 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-825-3177
"	須 賀 幸 一	(株)芙蓉コンサルタント 技術本部長 〒790-0063 松山市辻町2-38	TEL 089-924-1313 FAX 089-923-5717
"	大 内 泰 志	(株)四国総合研究所 土木技術部上席研究員 〒761-0113 高松市屋島西町2109-8	TEL 050-8802-4672 FAX 087-887-0004
"	古 野 隆 久	四国地質調査業協会 理事 〒761-8058 高松市上天神町231-1マリッチF 1101 (株)ファルコン 代表取締役 〒770-8056 徳島市間屋町43番地	TEL 087-899-5410 FAX 087-899-5411 TEL 088-602-4500 FAX 088-623-0002
"	大 西 鋼	四国地質調査業協会 副理事 〒761-8058 高松市上天神町231-1マリッチF 1101 (株)地研 代表取締役 〒780-0974 高知市円行寺25番地	TEL 087-899-5410 FAX 087-899-5411 TEL 088-822-1535 FAX 088-822-1548
"	辻 和 秀	建設コンサルタンツ協会 四国支部 理事 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 (株)エイト日本技術開発四国支社 執行役員 四国支社長 〒790-0054 松山市空港通2-9-29	TEL 087-851-5881 FAX 087-823-8730 TEL 089-971-6511 FAX 089-973-3132
"	中 屋 亮	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 大成建設(株)四国支店 執行役員支店長 〒760-0019 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー19F	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-825-3400 FAX 087-825-3444
"	川 崎 邦 彦	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 西松建設㈱ 四国支店 支店長 〒760-8503 高松市番町3-8-11	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-831-1471 FAX 087-837-4635
"	森 井 満 男	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 清水建設(株) 四国支店 執行役員支店長 〒760-8533 高松市寿町2-4-5	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-811-1805 FAX 087-811-1838
"	菅 信 晴	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部・運営委員 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 (株)奥村組 四国支店 支店長 〒760-0020 高松市寿町2丁目3番11号	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-851-9008 FAX 087-821-1314
"	佐 藤 健 人	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 (株)大林組 四国支店 常務執行役員支店長 〒760-0007 高松市中央町11-11	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-831-7121 FAX 087-837-3650
"	川 原 哲 博	四国建設業協会連合会 会長 〒770-0931 徳島市富田浜2-10 (一社) 徳島県建設業協会内)	TEL 088-622-3113 FAX 088-652-7609
支部監事	上 野 勝 利	徳島大学大学院理工学研究部 准教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7342 FAX 088-656-7342
"	満 石 孝 治	(株)四電技術コンサルタント 常務取締役 技術本部副本部長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-845-8881 FAX 087-887-2205
幹 事 長	新 名 薫	国土交通省 四国地方整備局 企画部技術企画官 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
事務局長	山 崎 清 志	国土交通省 四国地方整備局 企画部企画課課長補佐 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
事務局員	中 島 淳 子	愛媛大学 防災情報研究センター 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 090-6881-9036 FAX 089-927-9817
幹 事	野々村 敦 子	香川大学 工学部安全システム建設工学科 准教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2146 FAX 087-864-2188
"	安 原 英 明	愛媛大学 大学院理工学研究科 教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9853 FAX 089-927-9853
"	ネトラ P. バンダリ	愛媛大学 社会共創学部 准教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-8566 FAX 089-927-8566

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
〃	向 谷 光 彦	香川高等専門学校 建設環境工学科 教授 〒761-8058 高松市勅使町355	TEL 087-869-3921 FAX 087-869-3929
〃	亀 岡 知 弘	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 港湾事業企画課長 〒760-8554 高松市サンプォート3-33 高松サンプォート合同庁舎8F	TEL 087-811-8331 FAX 087-811-8431
〃	佐 野 功	徳島県 県土整備部 建設管理課 技術管理担当課長補佐 〒770-8570 徳島市万代町1-1	TEL 088-621-2620 FAX 088-621-2864
〃	多 田 康 宏	香川県 土木部技術企画課課長補佐 〒760-8570 高松市番町4-1-10	TEL 087-832-3521 FAX 087-806-0220
〃	岡 野 準	愛媛県 土木部 土木管理局 土木管理課 技術企画室 主幹 〒790-8570 松山市一番町4-4-2	TEL 089-912-2647 FAX 089-912-2653
〃	窪 内 雅 弘	高知県 土木部防災砂防課課長補佐 〒780-8570 高知市丸ノ内2-1-20	TEL 088-823-9845 FAX 088-823-9539
〃	一ノ瀬 泰 彦	(独)水資源機構吉野川本部 管理調整課長 〒760-0018 高松市天神町10-1	TEL 087-835-6600 FAX 087-835-6605
〃	宇 高 幸 生	四国電力(株) 土木建築部 土木技術グループ 副リーダー 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-825-3177
〃	石 村 典 久	西日本高速道路(株)四国支社 建設事業部 技術計画課長 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1896 FAX 087-826-3057
〃	能 野 一 美	(株)四電技術コンサルタント 土木事業部・地質技術グループ課長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-887-2290 FAX 087-887-2205
〃	香 川 年 市	青葉工業(株)取締役 高松営業所長 〒760-0074 高松市桜町1丁目17-3	TEL 087-862-8223 FAX 087-837-2807
〃	尾 崎 美 伸	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 公共工事委員長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 鹿島建設㈱ 四国支店 営業統括部長 〒760-0050 高松市亀井町1-3	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-839-3100 FAX 087-862-0314
〃	神 田 幸 正	株式会社ビュー設計 技術部次長 〒771-0136 徳島市川内町平石古田261番地	TEL 088-665-7360 FAX 088-665-7361
〃	中 根 久 幸	(株)地研 取締役事業部長 〒780-0974 高知市円行寺25番地	TEL 088-822-1535 FAX 088-820-7326
〃	植 田 昌 宏	(株)チェリーコンサルタント 技術監 〒760-0073 高松市栗林町3-7-23	TEL 087-834-5111 FAX 087-831-3962
(徳島県) 地域幹事	前 田 裕 太	国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 河川調査課長 〒770-0803 徳島市上吉野町3-35	TEL 088-654-9611 FAX 088-654-9643
〃	大 野 誠 彦	国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所沿岸防災対策官 〒773-0001 小松島市小松島町字新港9-14	TEL 0885-32-3357 FAX 0885-35-0010
〃	井 戸 城 治	西日本高速道路(株) 四国支社徳島工事事務所工務課長 〒770-0861 徳島市住吉5-1-30	TEL 088-626-5285 FAX 088-626-5691
〃	小 林 昌 弘	(株)基礎建設コンサルタント 技術部技術課長 〒779-3120 徳島市国府町南岩延883-92-5330	TEL 088-642-5330 FAX 088-642-4216
〃	大 藪 剛 士	応用地質(株) 四国支社徳島支店 主担 〒770-0021 徳島市佐古一番町10番2号G2ビル3階	TEL 088-653-0125 FAX 088-653-0124
〃	藤 川 健 太	四国建設コンサルタント(株) 道路・計画部設計3課係長 〒771-1156 徳島市応神町応神産業団地3番地1	TEL 088-683-3392 FAX 088-683-3562
〃	安 芸 浩 資	ニタコンサルタント(株) 771-0122 徳島市川内町鈴江西38-2	TEL 088-665-5550 FAX 088-665-0015
(高知県) 地域幹事	北 川 誠 純	国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所調査課長 〒780-8023 高知市六泉寺町96-7	TEL 088-832-0779 FAX 088-833-5357
〃	山 崎 清 志	国土交通省 四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所企画調整課長 〒781-0113 高知市種崎874	TEL 088-847-3512 FAX 088-837-3001
〃	清 水 博	高知市 都市建設部長 〒780-8571 高知市本町5-6-13	TEL 088-823-9216 FAX 088-823-9038
〃	林 満 年	応用地質(株) 高知支店 支店長 〒780-0901 高知市上町2-5-1(臼井エステートビル3F)	TEL 088-855-3050 FAX 088-875-5066
〃	北 村 暢 章	(株)第一コンサルタンツ 設計部地盤防災課 〒781-5105 高知市介良甲828-1	TEL 088-821-7770 FAX 088-821-7078
〃	松 尾 俊 明	(株)四国トライ 代表取締役社長 〒780-0082 高知市南川添17-21	TEL 088-883-5908 FAX 088-883-5909

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
"	山 崎 尚 明	(株)相愛 取締役営業部長	TEL 088-846-6700
		〒780-0002 高知市重倉266-2	FAX 088-846-6711
"	西 川 徹	(株)第一コンサルタンツ 取締役設計部長	TEL 088-821-7770
		〒781-5105 高知市介良甲828-1	FAX 088-821-7078
"	中 島 昇	(株)地研 係長	TEL 088-822-1535
		〒780-0974 高知市円行寺25番地	FAX 088-820-7326
"	岡 崎 健一郎	(株)轟組 土木部防災担当部長	TEL 088-834-1016
		〒780-8006 高知市萩町1丁目5番13号	FAX 088-834-1028
(愛媛県) 地域幹事	西 山 文 彦	国土交通省 四国地方整備局 松山港湾・空港工事事務所企画調整課長	TEL 089-951-0162
		〒791-8058 松山市海岸通2426-1	FAX 089-946-8010
"	篠 原 潤	(株)カナン・ジオリサーチ 代表取締役	TEL 089-993-6711
		〒791-1106 松山市今在家2-1-4	FAX 089-993-6733
"	松 田 久 和	(株)シアテック 土木部調査設計二課 副課長	TEL 0897-37-2797
		〒792-0003 新居浜市新田町3-1-39	FAX 0897-32-5979
(香川県) 地域幹事	尾 崎 美 伸	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 公共工事委員長	TEL 087-851-6969
		〒760-0026 高松市磨屋町6-4	FAX 087-851-3176
"	田 村 彰 三	鹿島建設㈱ 四国支店 営業統括部長	TEL 087-839-3100
		〒760-0050 高松市亀井町1-3	FAX 087-862-0314
"	木 下 博 久	田村ボーリング(株) 専務取締役	TEL 087-833-7878
		〒760-0007 高松市中央町6-19-21	FAX 087-834-4795
"	増 田 剛 人	復建調査設計(株)四国支社 地盤技術課長	TEL 087-826-1913
		〒760-0020 高松市錦町1-4-40	FAX 087-826-2026
"	内 田 純 二	㈱増田地質工業 会社役員	TEL 087-862-5255
		〒760-0005 高松市官脇町1丁目18番23号	FAX 087-862-5201
"	安 藤 秀 一	西日本高速道路エンジニアリング四国(株) 土木事業本部調査設計部	TEL 087-834-2413
		〒760-0072 高松市花園町3-1-1	FAX 087-834-1193
"	鈴 木 麻里子	(株)ウエスコ 地盤調査事業部 四国地盤調査課長	TEL 087-864-9248
		〒761-8055 高松市紙町494	FAX 087-868-3037
"	右 近 雄 大	香川高等専門学校 助教	TEL 087-869-3914
		〒761-8058 高松市勅使町355	FAX 087-869-3921
"	右 近 雄 大	大日本コンサルタント㈱四国支店 技術部係長	TEL 087-811-0899
		〒760-0026 高松市磨屋町3-1	FAX 087-851-9311

第4号議案 平成29年度 支部事業計画(報告)

平成 29 年度 支部事業計画

1. 総会，役員会等

(1) 支部総会

第 1 回 平成 29 年 4 月 17 日（金）16:00～17:00 アイホール（高松市）

- ① 平成 28 年度 特別表彰、支部表彰
- ② 平成 28 年度 支部事業報告
- ③ 平成 28 年度 支部収支決算報告，監査報告
- ④ 平成 29 年度 支部役員（案）
- ⑤ 平成 29 年度 支部事業計画（案）
- ⑥ 平成 29 年度 支部収支予算（案）

(2) 評議員会

第 1 回 平成 29 年 4 月 17 日（月）14:30～15:00 アイホール（高松市）

- ① 平成 29 年度 支部役員（案）
- ② 平成 28 年度 支部事業報告（案）
- ③ 平成 28 年度 支部収支決算報告（案），監査報告
- ④ 平成 28 年度 特別表彰、地盤工学貢献賞
- ⑤ 平成 29 年度 支部事業計画
- ⑥ 平成 29 年度 支部収支予算

第 2 回 平成 30 年 2 月（予定）

- ① 平成 29 年度 支部事業報告
- ② 平成 29 年度 支部決算見込み報告
- ③ 平成 30 年度 支部役員案
- ④ 平成 30 年度 支部事業計画案
- ⑤ 平成 30 年度 支部予算案
- ⑥ その他

(3) 幹事会

3 回程度開催（第 1 回 平成 29 年 6 月予定）

2. 支部主催事業

(1) 平成29年度講習会 担当：四国地整

- 日 時：平成28年10月頃
- 場 所：高松市

(2) 平成29年度技術研究発表会 担当：高知大学

- 日 時：平成29年11月10日（金）、11日（土）
- 会 場：黒潮町商工会（高知県幡多郡黒潮町入野 1936-1）

(3) 平成29年度見学会 担当：高知大学

- 日 時：平成29年11月11日（土）
- 場 所：未定

(4) 学術講演会 担当：徳島大学

- 日 時：平成29年8月頃
- 場 所：徳島市

(5) 地盤工学会四国支部 地盤地震防災研究委員会

- 1) 動的遠心模型実習（愛媛大学）
- 2) 研究委員会 3回程度（会場未定）

3. 各県地盤工学研究会

(1) 徳島県地盤工学研究会

- 1) 平成29年度 地盤と防災・環境に関するシンポジウム
 - 日 時：平成29年9月頃
 - 場 所：未定
- 2) 第1回 特別講演会
 - 日 時：平成30年1月頃
 - 場 所：未定
- 3) 第2回 特別講演会
 - 日 時：未定
 - 場 所：未定
- 4) サマースクール（意見交換会など）
 - 日 時：未定
 - 場 所：未定
- 5) 現場見学会
 - 日 時：未定
 - 場 所：未定

(2) 香川県地盤工学会

- 1) 第 1 回役員会
○日 時：平成 28 年 5 月頃
- 2) 第 1 回学術講演会
○日 時：平成 28 年 7 月頃
- 3 第 2 回学術講演会
○日 時：平成 28 年 11 月頃
- 4) 見学会
○日 時：平成 28 年 10 月頃

(3) 高知県地盤工学会

- 1) 第 4 回高知県地盤工学会「若手の会」(勉強会)
○日 時：平成 29 年 6 月
○場 所：未定
○内 容：未定
- 2) 第 41 回(平成 29 年度) 高知県地盤工学会 現地見学会
○日 時：平成 29 年 4 月 21 日(金)
○場 所：高知市役所新庁舎建設現場
○内 容：高知市新庁舎建設地に施工予定「丸太打設による液状化対策工事」の見学会
- 3) 第 42 回(平成 29 年度) 高知県地盤工学会 講演会
○日 時：平成 29 年 8 月
○場 所：未定
○内 容：未定

(4) 愛媛県地盤工学会

- 1) 愛媛県地盤工学会学術講演会 I
○日 時：平成 29 年 5 月 13 日(土)
○場 所：未定
○内 容：未定
- 2) 愛媛県地盤工学会学術講演会 II
○日 時：未定
○場 所：愛媛大学

第5号議案 平成29年度 支部収支予算(報告)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益	0	330,000	210,000	0	0	540,000	0	540,000
調査研究・基準事業収益（公2）	0	330,000	0	0	0	330,000	0	330,000
学術講演会費収益	0	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000
見学会収益	0	20,000	0	0	0	20,000	0	20,000
技術研究発表会収益	0	260,000	0	0	0	260,000	0	260,000
技術推進事業収益（公3）	0	0	210,000	0	0	210,000	0	210,000
講習会収益	0	0	210,000	0	0	210,000	0	210,000
② 雑収益	0	0	0	0	90,020	90,020	90,020	180,040
受取利息	0	0	0	0	20	20	20	40
雑収益	0	0	0	0	90,000	90,000	90,000	180,000
③ 他会計からの繰入額	0	0	0	0	591,500	591,500	1,098,500	1,690,000
本部交付金	0	0	0	0	591,500	591,500	1,098,500	1,690,000
経常収益計	0	330,000	210,000	0	681,520	1,221,520	1,188,520	2,410,040
(2) 経常費用								
① 事業費	0	1,250,000	715,387	15,000	0	1,980,387	0	1,980,387
調査研究・基準事業費（公2）	0	1,250,000	0	0	0	1,250,000	0	1,250,000
学術講演会費	0	30,000	0	0	0	30,000	0	30,000
見学会費	0	70,000	0	0	0	70,000	0	70,000
技術研究発表会費	0	250,000	0	0	0	250,000	0	250,000
研究会助成金支出	0	800,000	0	0	0	800,000	0	800,000
研究事業支出	0	100,000	0	0	0	100,000	0	100,000
技術推進事業費（公3）	0	0	715,387	0	0	715,387	0	715,387
講習会費	0	0	250,000	0	0	250,000	0	250,000
国内・海外調査およびセミナー・報告会	0	0	465,387	0	0	465,387	0	465,387
表彰関連事業費（公4）	0	0	0	15,000	0	15,000	0	15,000
表彰事業	0	0	0	15,000	0	15,000	0	15,000
② 管理費	0	0	0	0	0	0	895,040	895,040
借入費	0	0	0	0	0	0	400,000	400,000
会議費	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000
旅費・交通費	0	0	0	0	0	0	160,000	160,000
通信費	0	0	0	0	0	0	60,000	60,000
印刷費製本費	0	0	0	0	0	0	60,000	60,000
HP管理費	0	0	0	0	0	0	80,000	80,000
雑費	0	0	0	0	0	0	85,040	85,040
経常費用計	0	1,250,000	715,387	15,000	0	1,980,387	895,040	2,875,427
当期経常増減額	0	△ 920,000	△ 505,387	△ 15,000	681,520	△ 758,867	293,480	△ 465,387
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 920,000	△ 505,387	△ 15,000	681,520	△ 758,867	293,480	△ 465,387
一般正味財産期首残高								6,762,583
一般正味財産期末残高								6,297,196
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額								0
指定正味財産期首残高								0
指定正味財産期末残高								0
III 正味財産期末残高								6,297,196

【参考資料】

① 平成 29 年度以降の事業予定

② 四国支部規定等

- ・ 地盤工学会四国支部規程 (平成 22 年 4 月 21 日制定)
- ・ 地盤工学会四国支部特別表彰規程 (平成 23 年 4 月 26 日改定)
- ・ 地盤工学会四国支部年次表彰規程 (平成 23 年 4 月 26 日改定)
- ・ 地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程
(平成 25 年 11 月 23 日改定)
- ・ 旅費, 謝金等支払い内規 (平成 18 年 2 月 22 日評議員会了承)
- ・ 会計管理体制 (平成 12 年 9 月 25 日本部提出)
- ・ 各県地盤工学会研究会助成内規 (平成 17 年 4 月 15 日評議員会了承)

H29年度以降の事業予定

・事務局等の分担履歴

年度	事務局	技術研究 発表会	講習会	見学会	学術講演会	四国建設広報 協議会	主要事業
H 2	愛媛大学			高知大学	土木学会		H. 1・・・30周年(四国地建)
H 3	四国電力	愛媛大学					
H 4	高知大学	徳島大学	四国電力		土木学会		全国大会(高知大学)
H 5	香川大学	高知大学					
H 6	徳島大学				土木学会		
H 7	香川大学	愛媛大学					
H 8	JH四国	徳島大学			土木学会		
H 9	愛媛大学						
H10	四国地建	高知大学			土木学会		IS-Shikoku(愛媛大学)
H11	四国電力	四国電力	四国電力		四国電力	愛媛大学	40周年(四国地建)
H12	高知大学	愛媛大学	JH四国	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H13	香川大学	高知大学	四電、香川大	高知大学	愛媛大学	徳島大学	全国大会(徳島大学)
H14	徳島大学	徳島大学	四国地整	徳島大学	土木学会	香川大学	
H15	JH四国	香川大学	JH四国	香川大学	高知高専	愛媛大学	土木学会全国大会(徳島大学)
H16	愛媛大学	愛媛大学	香川大、四電	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H17	四国地整	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学	愛媛大学	
H18	四国電力	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	愛媛大学	
H19	香川大学	香川大学	NEXCO	香川大学	高知大学	愛媛大学	
H20	徳島大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会	愛媛大学	
H21	NEXCO	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学	愛媛大学	50周年記念事業
H22	愛媛大学	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	愛媛大学	全国大会(愛媛大学)
H23	四国電力	香川大学	NEXCO	香川大学	高知高専	愛媛大学	土木学会全国大会(愛媛大学)
H24	四国地整	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会	愛媛大学	
H25	香川大学	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学	香川大学	
H26	徳島大学	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	徳島大学	
H27	NEXCO	香川大学	NEXCO	香川大学	高知大学	NEXCO	
H28	愛媛大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会	愛媛大学	
★ H29	四国地整	高知大学	四国地整	高知大学	徳島大学	四国地整	
H30	四国電力	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会	四国電力	全国大会(香川大学)
H31	高知大学	香川大学	NEXCO	香川大学	高知高専	高知大学	60周年記念事業
H32	香川大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会	香川大学	

公益社団法人地盤工学会四国支部規程

(平成 22 年 4 月 21 日制定)

第 1 章 総 則

(支部の名称及び所在地)

第 1 条 公益社団法人地盤工学会（以下「学会」という。）定款第 3 条に基づき四国地区に支部を設け、公益社団法人地盤工学会四国支部（以下「支部」という。）といい、事務局を四国地区に置く。

(支部規程の制定)

第 2 条 支部の運営に関しては、学会規則（以下「規則」という。）第 52 条の規定により、学会定款（以下「定款」という。）及び規則に定めるもののほか、この規程に定めるところによる。

(支部区域)

第 3 条 支部は、規則第 44 条に示す四国地区（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）在住の会員をもって組織する。

(地域会等)

第 4 条 支部は、支部発展のため各県に地盤工学会研究会を設置する。

(事業)

第 5 条 支部は、規則第 46 条に定める範囲において、定款第 5 条に定める事業のうち、支部に関する事業を行う。

第 2 章 支部役員

(支部役員)

第 6 条 支部に、次の支部役員を置く。

支 部 長	1 名
副 支 部 長	3 名
評 議 員	若干名
支 部 監 事	2 名
幹 事 長	1 名
幹 事	若干名

2 支部に顧問を置くことができる。

(支部役員の選任)

第 7 条 支部役員は、評議員会が支部内の正会員のうちから推薦し、支部総会の決議によって選任する。そのうち、支部長については、正会員から選任しなければならない、その余の者は特段の事情があれば正会員以外から選任することができる。

2 支部役員が任期中に欠けたときは、次期定例支部総会までの残任期間中に限り、欠員としてその後任者を評議員会において選任することができる。

3 顧問は、支部長が任免する。

(支部役員の任期)

第 8 条 支部役員の任期は 1 年とし、支部役員は再任を妨げない。

2 前項の任期 1 年とは、定例支部総会から翌年の定例支部総会終結時までとする。

3 支部役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、その職務を行う。

4 顧問の任期は 1 年とする。ただし、再任を妨げない。

5 欠員として選任された支部役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(支部役員等の職務)

第 9 条 支部長は、支部を代表し、その会務を総理する。

2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長が事故ある時には、その職務を代行する。

3 評議員は、支部に関する重要事項を評議する。

4 支部監事は、支部の会計及び支部役員の業務執行状況等を監査する。

5 幹事は、支部に関する事務を処理し、幹事長はこれを総括する。

6 顧問は、支部役員の諮問に応ずる。

(支部役員の解任)

第 10 条 支部役員は、支部総会の決議によって解任することができる。

(支部役員の報酬)

第 11 条 支部役員は、無報酬とする。

第3章 支部代議員

(支部代議員候補者の選考)

第12条 支部は、定款第7条及び代議員選挙規則により、支部代議員候補者の選考を行う。

2 支部代議員候補者は、評議員会にて選考する。

第4章 会 議

(会議)

第13条 支部の会議は、支部総会、評議員会、幹事会及び支部委員会とする。

(支部総会)

第14条 支部総会は、規則第47条の規定により、支部に所属する会員をもって構成する。

2 支部長は、毎事業年度終了後1ヶ月以内に定例支部総会を招集する。また、必要に応じて臨時支部総会を招集する。

3 支部総会の議長は、支部長がこれに当たる。

4 支部総会は、次の事項について決議する。ただし、支部総会の議事は、予め評議員会の承認を必要とする。

- (1) 支部役員の選任または解任
- (2) 事業報告及び決算報告の承認
- (3) 支部規程その他の規程の変更
- (4) その他、評議員会で認めた事項

5 支部総会は、支部に所属するすべての会員の委任状を含む20分の1以上の出席をもって成立する。

6 委任状は、当該議事につき、書面をもって、支部総会における他の構成員に委任をし、または予め示された議案の賛否についての意思表示をすることができる。この場合はその者は出席者とみなす。

7 支部総会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは議長の決定による。ただし、支部規程の変更に関しては、出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

(評議員会)

第15条 評議員会は、評議員をはじめとする支部役員をもって構成し、議長は支部長がこれに当たる。

2 評議員会のうち、1回は毎事業年度開始1ヶ月前までに支部長が招集する。ただし、支部長が必要と認めた場合には、招集しなければならない。

3 評議員会は、次の事項を審議する。

- (1) 事業報告及び決算
- (2) 事業計画及び予算
- (3) 規程等の制定及び変更
- (4) 第7条に基づく支部役員の推薦または選出
- (5) その他、会務運営上の事項

4 評議員会は、評議員の委任状を含む過半数の出席をもって成立する。

5 委任状は、当該議事につき、書面をもって、評議員会における他の構成員に委任をし、または予め示された議案の賛否についての意思表示をすることができる。この場合はその者は出席者とみなす。

6 評議員会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは議長の決定による。ただし、支部規程の変更に関しては出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

(幹事会)

第16条 幹事会は、幹事長及び幹事をもって構成し、議長は幹事長がこれに当たる。

2 幹事会は、年3回程度開催し、幹事長が招集する。

3 幹事会は、評議員会に付議する事業計画、その他会務運営等に関する事項を策定する。

(支部委員会)

第17条 支部長は、調査・研究のために必要があるときは、支部委員会を設置することができる。

第5章 会 計

(支部の事業年度)

第18条 定款第43条に基づき、支部の事業年度は、毎年4月1日より始まり翌年3月31日に終る。

(支部の経費)

第19条 規則第51条に基づき、支部の経費は、交付金、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

(支部の事業計画及び収支予算)

第20条 支部の事業計画及び収支予算は、毎事業年度開始1ヶ月前までに評議員会が議決し、支部長は直ちに会長に届出て、理事会の承認を得なければならない。

2 支部長は、理事会が承認した事業計画及び収支予算を定例支部総会に報告しなければならない。

(支部の事業報告及び収支決算)

第21条 支部の事業報告及び収支決算は、毎事業年度終了後、支部監事の監査を受けた上で、評議員会

の議決を経て定例支部総会の承認を受けなければならない。

- 2 支部長は、毎事業年度終了後 1 ヶ月以内に事業報告及び収支決算報告を会長に届出て、理事会の議決を経て総会の承認を得なければならない。

第 6 章 支 部 表 彰

- 第 22 条 支部及び地盤工学の発展に関して、顕著な貢献をしたと認められる者に対して、支部は別途定める規程に基づき表彰することができる。

第 7 章 支部規程の改廃

- 第 23 条 この規程を改廃しようとするときは、評議員会の議決を経て、支部総会の承認を得なければならない。

- 2 支部長は、この規程の変更を行う場合、予め理事会の承認を得なければならない。

付 則

この規程は、平成 22 年 11 月 1 日から施行する。

地盤工学会四国支部特別表彰規程

平成11年4月21日制定

平成20年1月8日改定

平成23年4月26日改定

(目的)

第1条 この規程は、地盤工学会四国支部（以下「支部」という）規程第22条に基づき、支部及び地盤工学の発展に関して、顕著な貢献をしたと認められる者を表彰するために定めたものである。

(対象)

第2条 表彰は、表彰授与当該年度を除く過去10会計年度における以下に掲げる功績を対象とする。但し、同一の事項について、本部表彰の履歴のある者は対象外とする。

(功労賞)

第3条 功労賞は、支部の発展及び支部並びに本部の主催する重要な行事の実施にあたり、顕著な貢献をしたと認められる者に授与するものとする。

(技術開発賞)

第4条 技術開発賞は、地盤工学における新技術の開発及びその実用化等で顕著な貢献をし、地盤工学の発展を通じて社会に貢献したと認められる者に授与するものとする。

(技術功労賞)

第5条 技術功労賞は、長年にわたり人目に付きにくい業務に従事し、地道な実務の積み重ねを通じて地盤工学の進歩発展に功労があった者に授与するものとする。

(賞の授与年度)

第6条 賞は、10年に一度、支部発足10年毎の節目の年度に授与するものとする。

(選考委員会及び賞の決定方法)

第7条 賞選考委員会（以下「委員会」という）において賞を選考する。

第8条 委員会は、支部の10周年毎の記念事業実行委員会委員（以下「実行委員会」という）で構成される。

2. 委員会の長は、実行委員長が兼任する。

3. 実行委員会を設けない場合の委員会委員は、支部役員の中から5人以内で支部長が委員を選定し、委嘱する。

第9条 賞の受賞候補者は、支部役員が委員会に推薦理由を付して推薦し、委員会で決定するものとする。

(表彰の時期及び表彰方法)

第10条 表彰は、支部の10周年毎の記念行事（以下「記念行事」という）の席において賞状及び副賞を授与して行う。

2. 記念行事を行わない場合は、10周年毎の当該年度内において、支部長の指定する日に表彰式を行うものとする。

(附則)

この規程は、平成23年4月26日より施行する。

地盤工学会四国支部年次表彰規程

平成20年1月8日制定

平成23年4月26日改定

(目的)

第1条 この規程は、地盤工学会四国支部(以下「支部」という)規程第22条に基づき、地盤工学の学術並びに技術の発展と学会支部活動の活性化に寄与した優れた業績を表彰するために定めたものである。

(表彰対象)

第2条 表彰は「地盤工学会四国支部賞(以下、四国支部賞という)」を授与して行う。四国支部賞は、原則として四国支部の会員による次のいずれかに該当する業績を対象として、個人(複数可)または団体に授与する。

(1) 技術賞

四国地域で実施され、四国支部における技術研究発表会等で発表された調査、設計及び施工等の個別技術に係る業績

(2) 技術開発賞

活用性、汎用性に優れた技術の開発及び実用化等

(3) 研究・論文賞

四国支部および各県の地盤工学研究会で発表された創造性、特殊性が活かされた学術的に優れた研究論文及び研究報告等

(4) 功績賞

① 地盤工学会四国支部の活動に永年従事し、学会の進歩、発展、運営に顕著な貢献をしたと認められる業績等

② 地盤工学会四国支部関係技術者の育成及び技術力向上に顕著な貢献をしたと認められる業績等

③ 地盤工学会四国支部の広報ならびに社会的地位向上に貢献をしたと認められる業績等

第3条 四国支部賞は第2条の各項目の名称を「四国支部賞(賞名)」と称する。各部門について該当者のいない場合には授与を見送る。

第4条 受賞者は原則として四国支部に所属する会員または特別会員とする。

(表彰委員会)

第5条 四国支部賞を選考する表彰委員会(以下「委員会」という)を設置する。

第6条 委員会は委員長、幹事1名、委員4名とする。

第7条 委員長は支部長とする。

第8条 幹事、委員は委員長が選任する。

(応募)

第9条 四国支部賞の応募は別途定める「応募推薦要領」による。

(審査及び決定)

第10条 応募業績の審査及び受賞業績の決定は委員会で行う。

(表彰)

第11条 総会において支部長が賞状を授与する。

(附則)

第12条 この規程は、平成23年4月26日より施行する。

地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程

平成 11 年 4 月 21 日制定

平成 20 年 1 月 8 日改定

平成 23 年 4 月 26 日改定

平成 25 年 11 月 23 日改定

(目的)

第 1 条 この規程は、地盤工学に係る技術の発展及び技術者の意識向上を図ることを目的として、地盤工学会四国支部規程第 22 条に基づき、支部主催の技術研究発表会における優秀論文の口頭発表者を優秀発表賞（以下「賞」という）として表彰するために定めたものである。

(受賞対象者)

第 2 条 受賞対象者は以下のとおりとする。

- (1)地盤工学会の個人会員であること。
- (2)大学および高等専門学校等の教員でないこと。
- (3)過去 5 年以内に受賞していないこと。
- (4)当該年度の 4 月 1 日時点で 40 歳未満であること。
- (5)発表者数の概ね 10%程度の人数を表彰する。

(審査方法)

第 3 条 賞を選考するために、論文審査委員会（以下「委員会」という）を設置する。2. 委員会は、委員長および委員 4 名の計 5 名で構成する。委員長は幹事長とし、委員は幹事長が選任する。採点委員は、委員会が選任する。

3. 口頭発表は 3 名以上の採点委員で採点を行う。
4. 採点項目は、(1) 発表内容、(2) 発表技術、(3)発表時間、(4)質疑応答の 4 項目とする。
5. 採点委員は、採点結果を委員会に提出する。委員会は、提出された採点結果を基に受賞者を選出する。
6. 委員長は、支部幹事会に受賞者を報告する。

(表彰方法)

第 4 条 表彰は、支部長が行う。

2. 表彰を行うにあたっては、賞状を授与することができる。

(附則)

この規程は、平成 25 年 11 月 23 日より施行する。

地盤工学会四国支部旅費、謝金等支払い内規

1. 謝金：本部内規に準じて支給する（平成10年11月30日理事会暫定改正）
 （ ）はH10年度

項目	支給単位	支給額
講師料	講演時間60分まで10分ごとに	2,500 円
	講演時間60分を越え10分増すごとに	2,000 円
	（講演時間 1 時間あたり ）	(14,000 円)
特別講師	講演時間60分まで	15,000 円
	講演時間60分を越え30分増すごとに	10,000 円
	（講演時間1時間あたり ）	(30,000 円)
原稿料	会誌1ページ相当 （ワープロ仕上げ）	2,500 円
	講習会テキスト書き下ろし原稿用紙1枚	(2,400 円) 920 円
アルバイト	1日あたり	7,000 円
		(同 上)
	1時間当たり	900 円
		(同 上)

2. 旅費：本部旅費支給規程(H15.12.19改正に準じる)

・原則として要求がある場合に支給する。

① 交通費

・タクシー等自動車を利用した車賃は支給しない。

ただし、特別な事情でやむを得ず自動車を利用した場合の車賃は実費額とする。

・勤務個所および会場から最寄りのJR駅まで、JR以外の交通機関を利用する場合の運賃は一律1,000円とする。

・航空機利用の場合は航空運賃を支給する。この場合、空港の最寄りのJR駅から空港までの交通機関利用料金一律1,000円、東京空港と会場最寄駅までの交通機関利用料金一律1,000円とする。

・主な地域からの例（通常期の場合、繁忙期、閑散期は別途考慮）

高松での幹事会等への出席

・高松市内から 2,000円（市内交通費）

・高松市外から 3,000円

②日 当：1,800円（片道120km以上の場合）

③宿泊費：9,000円（実費がこれ以上の場合は別途協議）

ただし、上記内容が所属機関の旅費規程等と相違があり、申し出があった場合は所属機関の規程から算出した金額を支給する。

（平成18年2月22日評議員会承認）

地盤工学会四国支部会計管理体制〔留意事項〕

1. 支部交付金は支部が開設した専用口座を設けて対応する。
2. 支部会計の通帳および現金を保管する場所は、関係者以外は自由には出入りできない旋錠できる部屋内、かつ、金庫もしくは旋錠できる什器内とする。
3. 通帳と印鑑、カードは別々に保管する。
4. 通帳には印を押さない。もしくは押さないようにしてもらう。
5. カードには暗証番号を付記しない。
6. カードは原則、支部会計責任者が保持し、保管する場合には前記、通帳・現金の保管場所と同様、関係者以外は自由には出入りできない施錠できる部屋内、かつ、金庫もしくは施錠できる什器内とする。
7. 支部会計責任者は定期的に口座の残金を確認する。

(平成12年9月25日本部提出書類より)

各県地盤工学会助成内規

1. 助成方法

各県地盤工学会の事業を行う費用の一部を負担する。負担額は各年度の事業計画に計上する。

2. 使途

助成金は、各県地盤工学会が地盤工学会員に対して事業を行うための費用にすることができ。

3. 報告

各地盤工学会は、地盤工学会四国支部に事業内容の報告を会計年度中に行う。

(平成17年4月15日評議員会承認)